

平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月11日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <http://www.bs11.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 目時 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画局長 (氏名) 内田 克幸 (TEL) 03 (3518) 1900
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第3四半期の業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	5,761	—	1,322	—	1,309	—	993	—
25年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	129.44	—
25年8月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成25年8月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年8月期第3四半期の数値及び平成26年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第3四半期	12,583	11,846	94.1
25年8月期	8,880	7,985	89.9

(参考) 自己資本 26年8月期第3四半期 11,846百万円 25年8月期 7,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であります。したがって、平成26年8月期の配当予想は、当該株式分割後の予想を記載しております。

3. 平成26年8月期(予想)の期末配当金12円50銭には、東京証券取引所市場第二部上場記念配当金2円50銭が含まれております。

4. 配当予想の修正については、本日(平成26年7月11日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年8月期の業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	11.2	1,550	13.8	1,500	10.9	1,200	△9.3	75.14

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であります。

3. 平成26年8月期(予想)の1株当たり当期純利益は、平成26年8月1日に予定している株式分割が、当事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年8月期3Q	8,901,416株	25年8月期	7,198,516株
26年8月期3Q	—	25年8月期	—
26年8月期3Q	7,676,892株	25年8月期3Q	—

- (注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成26年8月期より行っているため、平成25年8月期第3四半期の期中平均株式数を記載しておりません。
2. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行うことが予定されており、当該株式分割を反映した期中平均株式数を基に1株当たり（予想）当期純利益を算定しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているものの、基調的には緩やかな回復を続けているものとみられております。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の69.5%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ）で推移しており、またBSデジタル放送事業を含む衛星放送メディア分野の広告費は前年比で109.6%の伸長、中でもBS放送の広告費は、前年比で113.8%と好調に推移しております（「2013日本の広告費」(株)電通調べ）。

このような状況下、当社は皆様の「心に響くBS11」をコンセプトとして、ターゲットを絞ったクオリティの高い番組作りに引き続き邁進いたしました。平成25年10月の番組改編では、レギュラー番組の2時間スペシャル番組をお送りし、また古都にまつわる国宝の神秘に迫る『京都・国宝浪漫』の放送を開始いたしました。さらには、スポーツ番組への取組みとして、将来活躍を期待される多くの選手を輩出する『JOCジュニアオリンピックカップ』を放送、平成32年(2020年)に開催が決定した東京オリンピック・パラリンピックを目指すジュニア世代の活躍をお届けしました。平成26年1月には、視聴者の皆様からのご期待に応え『ANIME+』を大幅に増枠いたしました。

平成26年4月の番組改編では、当社が開局以来放送を続けている報道番組『INSIDEOUT』を『報道ライブ21 INSIDEOUT』としてリニューアル、メインMCとして露木茂氏を起用、大ベテランの持つ安定感と信頼感をご好評を得ております。また、新番組として、女優の本上まなみ氏が旅をしながら一眼レフカメラの上手な使い方をご紹介する『すてきな写真旅～一眼レフと旅に出よう～』、全国の名門ゴルフコースを知り尽くした倉本昌弘プロが中井学プロと共に、コース設計から緻密に分析された攻略法をご紹介しながら、周辺観光スポットの魅力も織り交ぜてお届けする『憧憬 大人のゴルフ旅』の放送を開始いたしました。その他、人気の韓国ドラマ枠においても、引き続きBS初登場の作品を多数編成・放送したことにより、売上増加に寄与いたしました。

費用面につきましては、引き続き番組制作費と番組購入費等の効率的なコントロールに努めながら、認知度向上のための施策として、戦略的に全国紙・地方紙への広告出稿、首都圏主要駅におけるデジタルサイネージ(電子看板)を実施いたしました。

また、平成26年3月に、東京ビッグサイトで開催された「Anime Japan 2014」においてアニメ作品を中心としたブースを出展、さらに同月に東京ビッグサイトで開催された「第41回 東京モーターサイクルショー」において、当社番組『MOTORISE 大人のバイク時間』のイベントを開催したことにより、当社及び当社番組の知名度向上に大きく寄与いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は5,761,531千円、営業利益は1,322,359千円、経常利益は1,309,946千円、四半期純利益は993,734千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ 3,703,080千円増加し、12,583,961千円(前事業年度末比41.7%増)となりました。主な要因は、現金及び預金が 1,376,367千円、建物(純額)が 1,117,361千円、土地が 1,228,772千円増加したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ 157,486千円減少し、737,526千円(前事業年度末比17.6%減)となりました。主な要因は、未払法人税等が 64,167千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ 3,860,566千円増加し、11,846,435千円(前事業年度末比48.3%増)となりました。この要因は、新規上場に伴う公募増資及び第三者割当増資を実施したことにより資本金が 1,433,416千円、資本剰余金が 1,433,416千円増加したこと及び四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の業績予想につきましては、平成26年3月12日付の「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。これに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、平成26年9月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については従来の38.01%から35.64%になります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額は15,505千円減少し、法人税等調整額が同額増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,895,776	4,272,143
受取手形及び売掛金	1,178,358	1,292,010
番組勘定	64,144	66,026
その他	591,615	405,724
貸倒引当金	△10,700	△11,300
流動資産合計	4,719,195	6,024,604
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,058,386	2,175,747
土地	2,805,984	4,034,756
その他(純額)	122,739	170,511
有形固定資産合計	3,987,109	6,381,015
無形固定資産	12,734	11,587
投資その他の資産	161,840	166,753
固定資産合計	4,161,685	6,559,356
資産合計	8,880,880	12,583,961
負債の部		
流動負債		
買掛金	171,234	196,381
未払法人税等	127,800	63,632
その他	510,220	401,728
流動負債合計	809,255	661,742
固定負債		
退職給付引当金	27,186	32,557
その他	58,570	43,226
固定負債合計	85,757	75,784
負債合計	895,012	737,526
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,749,782	4,183,198
資本剰余金	2,083,573	3,516,989
利益剰余金	3,152,512	4,146,246
株主資本合計	7,985,868	11,846,435
純資産合計	7,985,868	11,846,435
負債純資産合計	8,880,880	12,583,961

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
売上高	5,761,531
売上原価	2,805,585
売上総利益	2,955,945
販売費及び一般管理費	1,633,586
営業利益	1,322,359
営業外収益	
受取利息	492
受取賃貸料	106,141
その他	882
営業外収益合計	107,517
営業外費用	
支払利息	6,857
賃貸収入原価	35,613
株式交付費	21,268
上場関連費用	49,947
その他	6,242
営業外費用合計	119,929
経常利益	1,309,946
特別損失	
固定資産除却損	25
特別損失合計	25
税引前四半期純利益	1,309,920
法人税、住民税及び事業税	107,883
法人税等調整額	208,303
法人税等合計	316,186
四半期純利益	993,734

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年3月12日付で株式会社東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。株式上場にあたり、平成26年3月11日を払込期日とする一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行1,380,000株及び平成26年4月8日を払込期日とする第三者割当増資(オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資)による新株式の発行322,900株を行いました。

この結果、当第3四半期累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,433,416千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が4,183,198千円、資本準備金が3,516,989千円となっております。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成26年7月11日開催の取締役会において、株式分割を行うことを決議いたしました。

1. 目的

株式分割を行うことにより、株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成26年7月31日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数 8,901,416株

今回の分割により増加する株式数 8,901,416株

株式分割後の発行済株式総数 17,802,832株

株式分割後の発行可能株式総数 56,000,000株

3. 株式分割の効力発生日

平成26年8月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、次のとおりであります。

項目	当第3四半期累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	64円72銭